

コンテナ苗植付箇所の現地見学会を開催

【南木曾支署】5月27日（月）、阿寺国有林においてコンテナ苗植付箇所の現地見学会を開催しました。

この見学会は、森林・林業の再生に向けた課題の一つである林業経営コストの縮減に向けて「植栽時期を選ばない」「植栽が簡単」、「持ち運びが容易」、「活着が容易」等の特徴を有し、地拵や下刈りの省力化が期待できるコンテナ苗を実際に「見て」、「触って」、「植えて」を体験し、その普及等を図ることを目的に開催したものであり、木曾郡内の地方公共団体や林業事業体等から約50名の参加がありました。当日は、局森林整備課造林係長からコンテナ苗の特徴やその特徴を活かした伐採と造林の一環作業システム等についての紹介、南木曾支署森林整備官から植栽方法の説明をした後、2人一組で実際にコンテナ苗の植栽を体験しました。

参加者からは「植えやすい」、「扱いやすい」等の感想がありました。

また、以前にコンテナ苗の植栽を実施した林業事業体からコンテナ苗の利点と欠点、植栽に当たって苦労した点等についての話もあり、今後の課題等について参加者間で意見交換を行うなど有意義な見学会となりました。

今回見学会を行った場所は、今年度請負事業により8千7百本のヒノキを植栽することとしており、その内コンテナ苗を2千9百本植栽することとしています。



見学会会場の様子

植栽後に、①裸苗を植栽した箇所、②コンテナ苗を植栽した箇所、③コンテナ苗を植栽後下刈等を省略する箇所の3つの条件の違う試験地を設け、それぞれ活着率、成長状況等について継続的な調査を行うこととしています。調査内容等については逐次中部森林管理局のHPで公表するなど、コンテナ苗の普及に取り組んでいくこととしています。